

令和3年1月22日

さいたま市長 清水 勇人 様

さいたま市社会福祉審議会
児童虐待検証専門分科会
会長 石塚 章夫

「児童虐待死亡事例検証報告書における提言に対する対応状況」について
(具申)

令和2年度さいたま市社会福祉審議会児童虐待検証専門分科会において、標記の報告に対し、本分科会の意見を別紙のとおり具申いたしますので、ご配慮ください。

「児童虐待死亡事例検証報告書における提言に対する対応状況」について

「提言に対する対応状況」による報告では、『教育研修』や『すべての父親に向けた育児に関する情報の提供』など、既に実施されているものや今年度予定されている研修、関係機関等に周知がされているものがあり、対応が進められています。

一方で、『関係機関間の連携強化に向けた取組み』や『潜在的リスクに気づくための研修の実施』など、検討中であるものも多くありますが、そのような準備段階のものについても、今回の検証事例と同様の事例が再発することのないよう、確実に実施していただきたいと思えます。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、外出機会が減少する中で、子どもの見守り機会の減少や家庭内でのこれまでにないストレスにより、児童虐待等のリスクが高まっていることから、引き続き関係機関と連携を図り、一人でも多くの児童の命を救うことにつながるよう、取り組んでいただきたいと思えます。